

## QSS-3203-3703 タンク液作成の準備/調液方法

### 【MPC仕様共通】

#### 1. 薬品の準備

処理薬品 (MPC-22)	P-1R (CD)	P-2R (BF)	P-3R (STB)	P-1S
必要数量	1箱	1箱	1箱	—
使用本数	1本	2本	5本	2本

#### 2. 調液割合

母液タンク容量		P-1 (CD)	P-2 (BF)	P-3 (STB)
		18.1 L	18.3 L	46.3 L
調液割合	補充液	7.3 L	11.0 L	46.3 L
	スターター	1,991 ml	—	—
	水	8.8 L	7.3 L	—

#### 3. タンク液の調液

- \* 各母液タンクから処理ラックを抜き出す時、液が他の母液タンクに入らないよう十分注意してください。
- \* 調液に使用する容器(バケツ)は、CD用とその他用を分けてください。

- P-1  
(CD)
1. 容量 20L 以上の清潔な容器に 15~40℃ の水を 8L 用意します。
  2. P-1R を1本投入し、1分程度攪拌して調液します。
  3. 2. で作った液(P-1R 補充液)を CDサブタンクから 7.3L 注入します。残った液は補充タンクに入れてください。(約 2.7L)
  4. P-1S (スターター) 1,991mLを CDサブタンクから注入します。
  5. 15~40℃ の水をオーバーフローするまで CDサブタンクから注入します。(約 8.8L)

- P-2  
(BF)
1. 容量 20L 以上の清潔な容器に 15~40℃ の水を 10L 用意します。
  2. P-2R を2本投入し、1分程度攪拌して調液します。
  3. 2. で作った液(P-2R 補充液)を BFサブタンクから 11.0L 注入します。残った液は補充タンクに入れてください。(約 9.0L)
  4. 15~40℃ の水をオーバーフローするまで BFサブタンクから注入します。(約 7.3L)

- P-3 (STB)
1. 容量 20L 以上の清潔な容器に 15～40℃ の水を 19.8L 用意します。
  2. P-3R を2本投入し、1分程度攪拌して調液します。
  3. 2. で作った液(P-3R 補充液)20L を 各STBサブタンクから全量注入します。
  4. 同じ容器で、1. 2. 3. を繰り返し、計 40L 注入します。
  5. 続けて同じ容器に 15～40℃ の水を 9.9L 用意します。
  6. P-3R を1本投入し、1分程度攪拌して調液します。
  7. 6. で作った液(P-3R 補充液)を 各STBサブタンクからオーバーフローするまで注入します。残った液は補充タンクに入れてください。(約 3.7 L)

\*サブタンクとは、ケミカルフィルターが装着されている箇所を指します。  
ケミカルフィルターを抜き、そこから薬液を注入してください。

【 参考 】 補充液 作成方法

処理薬品名称	水 (15～40℃)	薬品	仕上り量
MPC-22 P-1R (CD)	8 L	P-1R 1個	10 L
MPC-22 P-2R (BF)	5 L	P-2R 1個	10 L
MPC-22 P-3R (STB)	9.9 L	P-3R 1個	10 L

【 参考 】 1 L あたりのタンク液 調液割合

処理薬品名称	補充液	スターター	水	仕上り量
MPC-22 P-1 (CD)	400 mL	110 mL	490 mL	1 L
MPC-22 P-2 (BF)	600 mL	—	400 mL	1 L
MPC-22 P-3 (STB)	1000 mL	—	—	1 L